



獣脚ろうそくづくりのようす

まほろんの収蔵庫には、かつて新地町向田A遺跡からみつかった獣脚の形をした鋳型があります。平成14年度には、それを基に獣脚付きの容器が研究復元製作されています。その鋳型からは、シリコンの模型も作りました。

今回は、2月24日に14名のみなさんと、このシリコンの模型から作った石膏の鋳型模型に溶かしたろうを流し込んで、獣脚の形をしたろうそくを作る体験を行いました。削ったパステルを入れてろうを溶かすと、きれいな色のろうが出来上がります。気に入った鋳型に芯を入れて、これを流し込んで完成です。

ごく簡単な体験ですが、ものを溶かして鋳型に流し込んで製品を作る点は、材質が鉄かろうかの違いだけで同じような原理で行われます。体験に参加されたみなさんも、その迫力あふれる獣脚ろうそくの出来ばえに大変満足されたようすでした。

獣脚ろうそくづくりは、本年度、体験活動室のメニューとして、一般来館者のみなさんにも体験できることになりました(5月22日から6月3日まで、材料費200円)。まほろんで、迫力あふれる獣脚のろうそくづくりに挑戦してみませんか。

古銭づくり

去る3月24日に、平成18年度最後の実技講座「古銭づくり」を開催しました。実は、この講座は2年前にも実施しましたが、今回は表の鋳型と裏の鋳型の2つを合わせて鋳込む、いわゆる合わせ鋳型による技法で挑戦してもらいました。

最初に、奈良時代の銭貨として「富本銭」、中世のものとして「永楽通寶」、近世のものとして「寛永通寶」の3種類の銭貨の鋳型を石膏で製作しました。これらをY字状に配置し、各鋳型に溝を掘ってつなぎ、表面と裏面の鋳型にシリコンを流し、これを種銭としました。

古銭の厚さが薄いこと(1mm前後)と、表裏面の鋳型をぴったり合わせなければいけないため、鋳型の製作が大変でした。つまり、表裏面の鋳型を寸分狂わず一致させ、さらに完成品の厚さを1mm前後にすることは、今回講座の鋳型製作では、完全にはできませんでした。

当時、簡単に銭貨が製作できたら、偽金づくりが横行してしまっただしょうから、このように薄くて表裏面がぴったり一致する鋳型の製作技術は、当時の鋳造技術の高さを示していると思われる。

実技講座の参加者には、鋳型の一部に篆刻刀やニードルで文字を掘っていただき、その後、アロイ(低融点合金)を流し込み、バリを取って完成です。2年前の同講座で製作したものと、今回のものを写真に示しましたが、少しはレベルアップしたでしょうか。



<アロイを流し込んだ鋳型>



<2年間の成果品(上)と今回の成果品(下)>



<鋳込みのようす>



実技講座「まっ茶茶碗をつくろう」

実技講座「まっ茶茶碗をつくろう」は、今年度から新しくまほろん実技講座に加えられた、本格的な陶器製作を行うメニューです。2月10日(土)と2月17日(土)の2日間にわたって開催し、10名のお客様が「茶の湯」に用いるまっ茶茶碗を製作しました。

茶碗の製作は、粘土をこねてうつわを形作る成形の工程、底部をけずって高台を作る仕上げの工程、窯で素焼きを行う工程、素焼きした茶碗に釉薬を掛ける施釉工程、本焼きの工程があります。受講者の皆さんには成形・仕上げ・施釉の工程を体験していただきました。

2月10日は次のような工程で茶碗を成形しました。まず、粘土をこね、丸めて茶碗の大きさに見合ったボウルを作ります。このとき厚さを均一にすることが良いうつわの形を作るコツです。大まかな茶碗の形ができたならば、表面を水で濡らし、形を整えつつ薄く引き延ばしていきます。これで茶碗の成形が終わります。ロクロから切り糸で切り離して乾かします。

一週間後の2月17日は生乾きの状態の茶碗を仕上げの工程です。ロクロの中央に逆さに置き、粘土で動かないように押さえてカキベラなどの道具を使って高台を削り出します。これで茶碗の完成。受講者の皆さんのほとんどは円筒形の半筒形の茶碗を作りましたが、中には天目茶碗や丸碗を作った人もいました。10日間乾燥させて2月27日に電気窯で素焼きをしました。素焼きが上がるまでは作品が割れないか心配でした。3月3日には釉薬掛けをし、3月6日に本焼きをしました。こんどは釉薬がうまく発色するか心配になりました。3月9日におそろおそろの窯の蓋を開けましたが、おおむね思ったとおりの発色をしていたので安心しました。作品は3月10日から取りに来てもらうことにしていましたが、作品を受け取りにこられた受講者の中にはさっそく自作の茶碗で茶を一服される方もいました。

研修だより

桜咲く清明の季節をむかえ、平成19年度のまほろん文化財研修事業がスタートいたしました。本年度も職員一同全力を尽くしますので、ふるってお申し込み下さい。

4月29日(日)は、体験学習支援研修1「指導者のための土器づくり」を当館において開催いたします。この研修は、教職員や生涯学習担当職員等の方々を対象に行うもので、今回は当館に収蔵されている縄文土器などをモデルにして、実際に土器づくりの方法を学んでいただきます。

5月27日(日)は、体験学習支援研修2「指導者のための土器焼き」を当館土器焼き場にて開催いたします。4月29日の体験学習支援研修1で製作した土器を実際に野焼きします。

6月9日(土)は入門考古学講座I「ふくしまの鍛冶史」をまほろん講堂にて開催します。当館学芸員による古代の鍛冶遺跡についての解説の後、まほろんイベント「古代の鉄づくり」の村下(むらげ)を務められた藤安将平刀匠により、鍛冶の実際について



＜専門考古学講座2「考古学の写真」のようす＞

お話していただきます。入門研修ですので、どなたでもお気軽にご参加下さい。

6月28日(木)～29日(金)は、発掘調査報告書デジタル原稿作成研修を須賀川市中央公民館において開催いたします。今回は、実際にデジタル技術を報告書作成に導入している市町村の担当者が集い、実体験にもとづく現状の報告と問題点の解決方法について実践的な研修を行います。

昨年度のまほろん

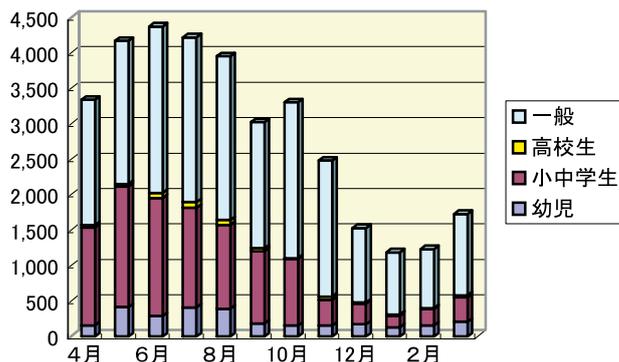
平成18年度の入館者数は過去最多!!

おかげさまをもちまして、平成18年度は34,500人を超える方々にご来館いただき、開館以来、最多の入館者数となりました。ご来館ありがとうございました。

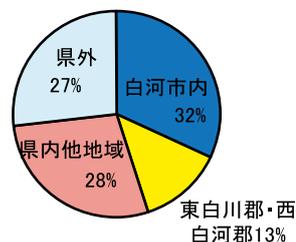
平成18年度入館者一覧表

	幼児	小中学生	高校生	一般	入館者合計
4月	156	1,382	33	1,766	3,337
5月	412	1,704	33	2,020	4,169
6月	289	1,665	69	2,347	4,370
7月	408	1,404	82	2,324	4,218
9月	181	1,020	42	1,779	3,022
10月	152	941	11	2,198	3,302
11月	152	362	49	1,916	2,479
12月	168	295	14	1,050	1,527
1月	128	164	18	876	1,186
2月	156	229	13	830	1,228
3月	204	342	33	1,149	1,728
合計	2,798	10,691	461	20,566	34,516

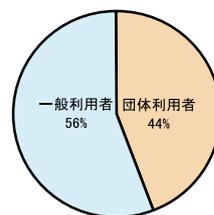
平成18年度月別入館者



地域別構成比率



団体構成比率



まほろんからのお知らせ

23号写真見出しの訂正

23号の表紙の写真は郡山市多田野小ではなく、南会津町上郷小でした。

関係者のみなさまにご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。



ご利用案内

開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日(月曜日が祝日・休日の場合はその翌日、ただしゴールデンウィークと夏休み期間中は毎日開館)国民の祝日の翌日、(土曜日・日曜日にあたる場合は開館)、年末年始(12月28日～1月4日)

入館料 無料(体験学習によっては、材料費が必要な場合もあります。)

その他 団体(20名以上)でご利用の場合は、事前にご予約ください。

今年度の行事予定

1 実技講座(毎月第3土曜日を中心に実施)

期 日	体 験 メ ニ ュ ー	体 験 内 容	募集締切	募集人数	対 象	材料費	
4月28日(土)	竹笛づくり	女竹を使って横笛をつくります。	4月20日	20名	小学5年生以上	420円	
5月19日(土)	土器づくり	粘土を使って土器をつくります。	5月11日	20名	以下は 保護者の付き 添いが必要)	100円	
6月16日(土)	土器の野焼き	5月につくった土器の野焼きをします。	—	—		—	
6月30日(土)	石庖丁づくり	粘板岩で石の庖丁をつくります。	6月22日	20名		200円	
7月 7日(土)	カラムシから布をつくろう①	カラムシを刈り取り、繊維を糸で作り出します。	6月29日	15名		200円	
7月21日(土)	カラムシから布をつくろう②	カラムシの繊維を紡いで糸をつくります。	—	—		—	
7月28日(土)	土器づくり	小型の土器をつくります。	7月20日	20名		小学生以上	100円
8月 4日(土)	土笛づくり	粘土を使って土笛をつくります。	7月27日	20名		(小学4年生 以下は 保護者の付き 添いが必要)	100円
8月11日(土)	古代の染色にちようせん	タデ藍を使って、生葉で布を染めます。	8月3日	15名		1,500円	
8月25日(土)	土器・土笛の野焼き	土器や土笛の野焼きをします。	—	—		—	
9月 1日(土)	カラムシから布をつくろう③	7月に紡いだ糸でアタリ編みの布をつくります。	—	15名		—	
10月20日(土)	埴輪づくり	粘土を使って埴輪をつくります。	10月12日	15名	100~200円		
11月17日(土)	埴輪を焼く	10月に作った埴輪を焼きます。	—	—	—		
11月24日(土)	古代のガラス技術にふれよう	鋳型を使って、ガラスの玉を作ります。	11月16日	15名	300円		
12月 1日(土)	凧づくり	竹ヒゴと和紙を使って和凧をつくります。	11月23日	20名	200円		
1月19・20日(土・日)	土器づくり上級編①	大型の文様の複雑な土器をつくります。	1月11日	10名	200円以上		
1月26・27日(土・日)	土器づくり上級編②	①でつくった土器を仕上げます。	—	—	—		
2月 9日(土)	まっ茶茶碗をつくろう①	ロクロを使って、茶碗の形をつくります。	2月1日	10名	中学生以上	300円	
2月16日(土)	まっ茶茶碗をつくろう②	茶碗に釉をかけます。	—	—	—		
3月 1日(土)	和鏡づくり	鋳型に金属を流して和鏡をつくります。	2月22日	15名	小学生以上(4年生 以下は保護者要)	500円	
3月 8日(土)	土器の野焼き上級編	1月に作った土器の野焼きをします。	—	—	中学生以上	—	

2 まほろんイベント等(年8回)

期 日	イベント名	イ ベ ント 内 容	募集締切	募集人数	対 象	材料費
5月 5日(土)	昔話を聞こう	昔話を聞きます。	なし	—	どなたでも	無料
7月14~16日 (土~月)	古代の鉄づくり その1	トイに水を流して砂鉄を選別します。	なし	—		無料
9月15日(土)	史跡見学ツアー	県内の史跡をめぐる予定です。	9月7日	20名		50円
9月29・30日 (土・日)	古代の鉄づくり その2	粘土で炉に風を送る羽子をつくります。	なし	—		無料
10月6~8日 (土~月)	まほろんを描こう	まほろんの敷地内で絵を描きます。	なし	—		
11月2~4日 (金~日)	古代の鉄づくり その3	踏みふいごで風を送り、製鉄炉で鉄をつくります。	10月26日	—		
12月 9日(日)	ボランティアイベント/餅つき大会	堅杵と横杵で餅をつきます。様々な体験イベントを行います。	なし	—		
1月12日(土)	第4回双六大会	昔の遊び「双六」のトーナメント戦を行います。	1月5日	20名		小学生以上
3月 2日(日)	雛祭り	みなさんでお雛さまをお祝います。	2月22日	30名		どなたでも
3月22日(土)	第5回毬杖大会	昔の遊び「毬杖」のトーナメント戦を行います。	3月14日	20名		小学生以上

3 まほろん森の塾(年9回、土曜日に実施)本年度の募集は締め切りしました。

期 日	内 容	募集締切	募集人数	対 象	材料費
4月14日(土)~12月15日(土)	古代米の田植えや収穫、石庖丁づくり、お泊まり会など	—	15名	小学5年生以上	2,000円

4 まほろん文化財講座(年2回、2・3月第3土曜日に実施)

期 日	講 座 名	講 師	募集締切	募集人数	対 象	入場料
2月16日(土)	第1回「私が掘ったあの遺跡—三春町—」	当館学芸員	先着順	60名	どなたでも	無料
3月15日(土)	第2回「私が掘ったあの遺跡—本宮市—」					

5 館長講演会シリーズ『考古学から見た世界の人々』(年6回、先着順、申込不要)

期 日	講 演 題	募集人数	対 象	入場料
4月28日(土)	「第1回「世界の自然と人々の暮らし」	60名	どなたでも	無料
5月26日(土)	「第2回「狩と採集、移動する暮らし—移動生活1—」			
6月23日(土)	「第3回「村の暮らし—一定住生活1—」			
10月27日(土)	「第4回「色々な村の暮らし方—一定住生活2—」			
11月24日(土)	「第5回「都市の暮らしへの歩み—都市・都城の出現—」			
12月22日(土)	「第6回「都市・都城の暮らしと国—多民族国家の誕生—」			

※各行事への申し込みは、当館までがき、電話、FAX、電子メール、ホームページの申し込みフォーム等でご連絡
いただくか、または、来館時に所定の申込書にご記入ください。(ご家族でも申し込みは、まとめてでもかまいません。)